

第 45 回東北農業経済学会青森大会のご案内

東北農業経済学会第 45 回大会のご案内をいたします。今回の大会は、弘前大学(弘前市)において開催されることになりました。日程と主な内容は以下の通りですが、充実した大会になるよう会員の皆さんの積極的なご参加を期待します。

日 時	2009年8月27日(木) 編集委員会、学会賞選考委員会、役員会 8月28日(金) 大会シンポジウム、総会、懇親会 8月29日(土) 個別報告、ミニシンポジウム
大会シンポジウムテーマ	グローバル下の東北果樹農業の課題
会 場	弘前大学農学生命科学部 〒036-8561 弘前市文京町 3 番地
大会実行委員会	
(代 表)	神田健策 電話 / Fax:0172-39-3828 電子メール: ken1948@cc.hirosaki-u.ac.jp
(事務局長)	泉谷眞実 電話 / Fax:0172-39-3933 電子メール: izumiya@cc.hirosaki-u.ac.jp

[東北農業経済学会 第 45 回大会のプログラム]

第 1 日目	2009 年 8 月 28 日 (金)	シンポジウム・総会	9 : 30 ~ 17 : 40
会 場	弘前大学農学生命科学部 4 0 3 室 (4 階)		

受 付	9 : 30 ~ 9 : 50
開会・会長挨拶	9 : 50 ~ 9 : 55

シンポジウム	9 : 55 ~ 16 : 50
--------	------------------

共通論題 グローバル下の東北果樹農業の課題

座長 神田健策 (弘前大学農学生命科学部)

鶴川洋樹 (秋田県立大学生物資源科学部)

座長問題提起

第 1 報告 木下幸雄 (岩手大学准教授)

第 2 報告 長谷川啓哉 (東北農業研究センター東北地域活性化研究チーム主任研究員)

第 3 報告 深澤 守 (中南地域県民局地域農林水産部長 / 前青森県農林水産部りんご果樹課長)

第 4 報告 井上俊美 (全国農業協同組合連合会山形園芸部部長)

コメンテーター (討論者) 村田武 (愛媛大学社会連携推進機構特命教授)

座長のまとめ

閉会・副会長挨拶	16 : 50 ~ 17 : 00
会員総会 (シンポジウムに引き続き)	17 : 00 ~ 17 : 40

懇 親 会	会場: 弘前大学生協 (スクーラム)	17 : 50 ~ 20 : 00
-------	--------------------	-------------------

第 2 日目 2009 年 8 月 29 日 (土)

個別報告	教室 1 0 3 , 3 0 2 , 3 3 0 , 3 3 1	9 : 00 ~ 13 : 00
------	----------------------------------	------------------

テーマ 農商工連携の現段階的意義と課題

座長 渋谷長生(弘前大学)

第1報告 農商工連携の全国的動向とその特徴 (食品需給研究センター)

第2報告 青森県攻めの農林水産業と農商工連携 (青森県農林水産部)

第3報告 青森県の事例から見る農商工連携の意義と課題 (弘前大学 渋谷長生)

第4報告 普及の立場から見る農商工連携 (青森県農林水産部中南地域県民局普及指導室 山田隆)

第5報告 北海道における農商工連携の意義と課題 (弘前大学 吉仲怜)

[大会会場(弘前大学)へのアクセス]

アクセスマップ・キャンパスマップは下記のホームページを参照ください。

農学生命科学部：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/access/hirosakimap/index.html>

[大会に関する各種の申し込みについて]

(1) 大会参加の申し込み

今大会では、シンポジウム参加費(報告要旨集代)2000円、懇親会参加費4000円(院生・学生は2,000円)となっております。大会参加は当日でも受け付けますが、資料や会場、懇親会等の準備のため、8月12日までにEメールないしファックスで下記のアドレスないしFAX番号に申し込んでください。(FAXの場合は次ページのFAX用紙を活用して下さい)

なお、参加希望者は、「大会シンポジウム」及び「懇親会」、「個別報告」のそれぞれに参加の有無を明示してください。代金は当日の受付で受領します。

(2) 個別報告の申し込み

大会2日目(8月29日)の午前9時~13時頃まで個別論題報告が行います。次の要領で個別報告を募集しますので、多数の応募を期待いたします。

なお、集約された各個別報告のテーマ及び座長・報告時間等については、後日、学会ホームページにおいて掲載します。(報告時間20分、質疑5分の予定、変更有り)

A 個別報告のエントリー

報告の論題(タイトル) 会員氏名 所属機関 パワーポイント使用の有無を明記して、6月30日(火曜日)までにファックスまたはメールで応募して下さい。

*ファックスで申し込む場合は後頁のFAX用紙を活用して下さい。

B 報告要旨原稿の提出

個別報告の申込者は、「報告要旨」を下記の要領で作成の上、提出して下さい。

< 個別報告要旨原稿の書き方及び提出方法 >

個別報告を申し込まれた方は、下記の要領で原稿を作成し提出して下さい。要旨集はオフセット印刷により作成されます。オフセット印刷とは、著者の原稿(A4版)をそのまま原版とし、本誌と同じ大きさ(B5版)に縮小して製版・印刷するものです。

用紙

原稿は必ずA4版の用紙を使用し、ワードプロセッサで印字のうえ提出して下さい。個別報告の要旨は一題につき1枚(1344字)以内とします。

文字の色と大きさ

印字の色は黒を使用して下さい。活字の大きさは10.5ポイントあるいはそれに準ずる大きさでお願いします。英文の場合も和文活字に準じた大きさでお願いします。(文字の大きさは必ずしも10.5ポイントでなくても結構ですが、その場合、後述のように、用紙の余白、1行文字数(42字)、1頁行数(36行)になるように調節して下さい。)

本文の文字数と組版方式

用紙に印字される際には次の要領を必ず守ってください。

A 4 版用紙に横組で、余白を上 18mm、下 20mm、左右 22mm ずつとって、一行 42 字で 36 行（1512 字、英文の場合 450 語）になるようにしてください。（この場合、1 行は 16.6cm の幅になり、36 行は上下 26.0cm になります。）

1 枚目には論題、氏名、所属機関を印字してください。活字の大きさは、論題 16 ポイント、氏名と所属機関 12 ポイントでお願いします。1 行あけて本文の印字をお願いします。（この分で通常の 5 行分に相当します。）

したがって、文字数は和文で 1302 字（1 行 42 字で 31 行）であり、英文の場合は 400 語になります。

原稿の提出方法

原稿の提出は、フロッピーディスクとプリントアウトしたもの、または電子メールの添付ファイルのいずれかをお願いいたします。

なお、原稿の提出の際、氏名・連絡場所の住所・電話、電子メールアドレスをお知らせ下さい。

個別報告要旨の原稿提出

提出締め切り日 2009年7月31日（金）必着

(3)大会参加および個別報告の申込先等

	締め切り	申込先（いずれも共通）
大会参加の申し込み	8月12日（水）	〒036-8561 弘前市文京町3番地 弘前大学農学生命科学部 吉仲 怜 宛 電話 / Fax: 0172-39-3826 電子メール: s-yoshi@cc.hirosaki-u.ac.jp
個別報告エントリー	6月30日（火）	
個別報告要旨の提出	7月31日（金）	

<大会参加申込みFAX用紙>

氏名： _____

所属先： _____

連絡先の電話・メールアドレス：

tel： _____ Eメールアドレス： _____

参加希望の有無 *以下に 印をつけてください

大会シンポジウム... 参加 ・ 不参加

懇親会 ... 参加 ・ 不参加

個別報告 ... 参加(報告申込み*、会場出席のみ) ・ 不参加

*報告申請者 報告テーマ名 _____

パワーポイントの希望 ... 使用・使用せず(どちらかに 印)

*報告ファイルはUSBメモリで持参してください。

